

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	保健・体育
科目基礎情報					
科目番号	0027		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	生物応用化学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	現代高等保健体育				
担当教員	桑原 伸弘, 中出 明人, 芥河 晋				
到達目標					
健康で活力のある心身の獲得とその維持は、本校在学中のみならず、卒業後も自身の生活の基盤となる。保健体育では、15歳～20歳の年代の身体的、精神的な特徴を理解し、各種の運動の実践を通じて、自己の身体への認識を深め、健康・体力・運動能力の保持・増進を図るとともに、生涯にわたる運動習慣の獲得を目指す。また、ルールや規則を守りながら行動する習慣を身につけ、運動を通じて健康な人間関係を保つコミュニケーション能力を養うことも目標とする。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
各種運動と身体や精神面の特性や特徴の理解	特性や特徴を十分理解することができる	特性や特徴を理解することができる	特性や特徴を理解することができない		
健康・体力・運動能力の保持増進	意欲的に運動に取り組み、健康・体力・運動能力の保持増進を図ることができる	運動に取り組み、健康・体力・運動能力の保持増進を図ることができる	運動に取り組み、健康・体力・運動能力の保持増進を図ることができない		
各種運動のルールや授業を進めるうえでの規則を守る	ルールや規則を十分に理解し守ることができる	ルールや規則を理解し守ることができる	ルールや規則を理解し守ることができない		
学科の到達目標項目との関係					
A					
教育方法等					
概要	基礎体力作りを目的とした運動や、個人技能・集団技能・対人技能といったいろいろな種目の基本動作を中心とした運動。 外種目実施日が雨天の場合はバレーボールまたは保健等、室内でできる内容に振り替える。				
授業の進め方・方法	実技内容は、基本練習を中心に進め、実技のテストも実施する。 なお、天候、授業実施場所の状況等何らかのやむを得ない事情がある場合、授業内容を変更することがある。				
注意点	体操服を着用し、シューズは体育館実施種目は体育館シューズ、屋外実施種目は運動靴を履くこと。水泳は水着、ゴーグル、帽子を着用すること。 見学する場合は見学カードに必要事項を記入し、担当教員へ提出すること。腕時計、アクセサリは身につけないこと。 体育という科目の特性上、授業への参加状況（服装、指示通りのことを行うといった態度等）も下記の「参加状況」における評価対象となるので留意すること。 新型コロナウイルス対応等が必要となった場合は授業内容等を変更することがある。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ソフトボール①	ルールを理解し、基本技術を使って安全に楽しくゲームができる	
		2週	ソフトボール②	ルールを理解し、基本技術を使って安全に楽しくゲームができる	
		3週	ソフトボール③	ルールを理解し、基本技術を使って安全に楽しくゲームができる	
		4週	ソフトボール④	ルールを理解し、基本技術を使って安全に楽しくゲームができる	
		5週	ソフトテニス①	サーブ、ストローク、ボレー等の基礎技術ができる	
		6週	ソフトテニス②	サーブ、ストローク、ボレー等の基礎技術ができる	
		7週	ソフトテニス③	サーブ、ストローク、ボレー等の基礎技術ができる ルールを理解し、基本技術を使って安全に楽しくゲームができる	
		8週	ソフトテニス④	サーブ、ストローク、ボレー等の基礎技術ができる ルールを理解し、基本技術を使って安全に楽しくゲームができる	
	2ndQ	9週	ソフトテニス⑤	サーブ、ストローク、ボレー等の基礎技術ができる ルールを理解し、基本技術を使って安全に楽しくゲームができる	
		10週	水泳①	基礎泳法での遠泳ができる	
		11週	水泳②	基礎泳法での遠泳ができる	
		12週	水泳③	基礎泳法での遠泳ができる	
		13週	水泳④	基礎泳法での遠泳ができる	
		14週	水泳⑤	基礎泳法での遠泳ができる	
		15週	水泳⑥	基礎泳法での遠泳ができる	
		16週			
後期	3rdQ	1週	バレーボール①	パス、サーブ、アタック等の基礎技術ができる	
		2週	バレーボール②	パス、サーブ、アタック等の基礎技術ができる	

4thQ	3週	バレーボール③	パス、サーブ、アタック等の基礎技術ができる ルールを理解し、基本技術を使って安全に楽しくゲームができる
	4週	バレーボール④	パス、サーブ、アタック等の基礎技術ができる ルールを理解し、基本技術を使って安全に楽しくゲームができる
	5週	バレーボール⑤	パス、サーブ、アタック等の基礎技術ができる ルールを理解し、基本技術を使って安全に楽しくゲームができる
	6週	サッカー①	パス、ドリブル、シュート等の基礎技術ができる
	7週	サッカー②	パス、ドリブル、シュート等の基礎技術ができる
	8週	サッカー③	パス、ドリブル、シュート等の基礎技術ができる ルールを理解し、基本技術を使って安全に楽しくゲームができる
	9週	サッカー④	パス、ドリブル、シュート等の基礎技術ができる ルールを理解し、基本技術を使って安全に楽しくゲームができる
	10週	サッカー⑤	パス、ドリブル、シュート等の基礎技術ができる ルールを理解し、基本技術を使って安全に楽しくゲームができる
	11週	バスケットボール①	パス、ドリブル、シュート等の基礎技術ができる
	12週	バスケットボール②	パス、ドリブル、シュート等の基礎技術ができる
	13週	バスケットボール③	パス、ドリブル、シュート等の基礎技術ができる ルールを理解し、基本技術を使って安全に楽しくゲームができる
	14週	バスケットボール④	パス、ドリブル、シュート等の基礎技術ができる ルールを理解し、基本技術を使って安全に楽しくゲームができる
	15週	バスケットボール⑤	パス、ドリブル、シュート等の基礎技術ができる ルールを理解し、基本技術を使って安全に楽しくゲームができる
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16

評価割合

	参加状況	技術習得度	学習意欲および授業進行への貢献度	合計
総合評価割合	70	20	10	100
配点	70	20	10	100